

ルルル、ごっくつ チユル、チユルルル... マコトが僕の口の中でイってる... 気持ち良さそう...



あ、...あれ、へ？
(やめた!? あと1秒くらいでイってたのに...)
聞こえてる？
イクってのは、射精するってこと
今、何か出そうな感じにならな



若返りの魔法あります★
ファーフ魔法道具店

今日も酒場で酒を飲む。

少年勇者たちが目を輝かせてモンスターと戦った事や
その日の冒険を熱く語り合っている。

同じ男とは思えない可愛らしい笑顔に艶のある声。

彼らに話しかける勇気がないオレは毎日ただ眺めるだけ…。

ある日、酒場の片隅の宣伝が目についた。

若返りの魔法、あの頃に戻れます。

(フアীগ魔法道具店)

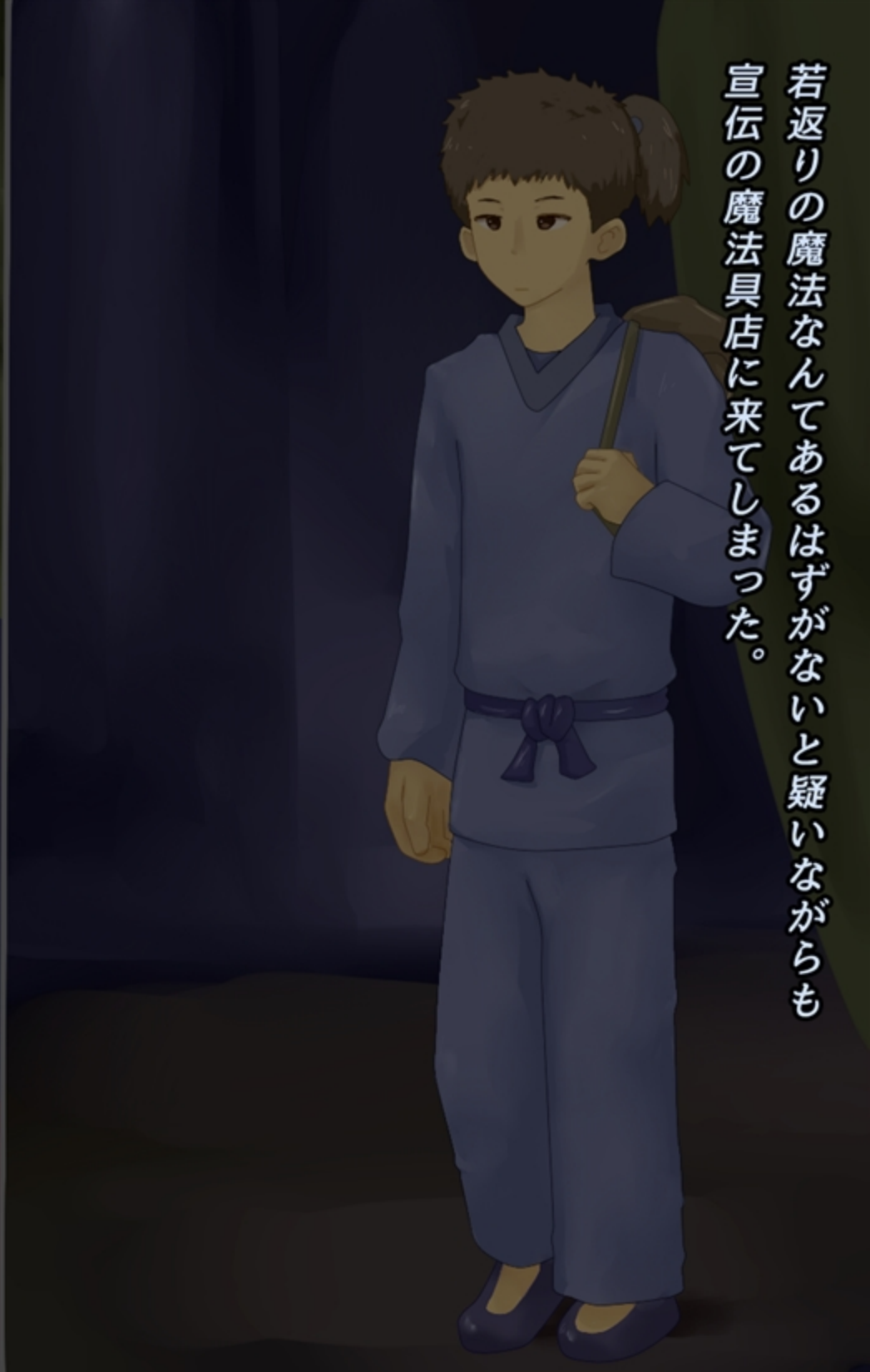
何だっ
て?!?

魔法で若返り出来るなんて聞いたが事ない。

姿を見せかけるだけの変身魔法か!?

Handwritten text on a piece of paper, likely a list or notes related to the magic shop advertisement.

Handwritten text on a piece of paper, likely a list or notes related to the magic shop advertisement.



若返りの魔法なんてあるはずがないと疑いながらも
宣伝の魔法具店に来てしまった。



いらっしやいませ〜♪

(少年魔法使いには見えない。
魔法道具を買いに来たんじゃないな)



(この子が店員か。可愛いなあ。あどけない顔してるけど
意外ともう精通してたりして。うーんたまらん。)

グイールの酒場に貼ってある宣伝の張り紙を見て来たんだ。
若返りの魔法というやつ。



(こんな子と話せるのなら魔法道具を買いに来て良いな...) (

えーと、少年になりたいんだ。

少年勇者と同じくらいいの。できる？

わかりました。1回50Gです。
効果は1日しか持続しません。

魔力を最大限に高めれば効果無制限に出来ますがそっちは1000Gです。
ただし2度と元には戻れません。

どちらになさいますか？

ん、50Gの方で頼む。

(怪しい)

かしこまりました。



このままで良いのか？
っていうか、もう始めてるの？



(気分が若返るとかだったりしてw)

はい。じつとして。あなたのお名前は何ですか？

・・・マコト。

マコトさんですね・・・では。

ユウマは魔法を唱えた!!





ふふふ、どうですか？
ちようどそのくらいがご希望でしょう？
手もおちんちんも可愛らしいですよ？



うおおおおおおおつ
本当だ!!

て・・・手が小さいっ
（そーいえばこんな感じだったような！）


ス
!!!

(体に力がみなぎってる。ダッシュユで走りたいたいような
じっとしていられない感じだ)
昔のオレの顔になってるのかな？
あっ 声もあの頃の声に変わってる！



この魔法は見た目だけでなく中身も全て変化するんですよ。
体力や筋力、骨、肌、心、何もかもマコトさんの昔の状態に
なっているはずですよ。
それと・・・もちろんアレの方もね♪





街から少し南の森にある建物。
魔物との戦いで砦の役割を終えた後、
宿屋として使われていたが
閉店し、現在は誰も近づかない廃墟。


マコト



(ここにいる2人の少年勇者
すごく可愛いんだよな～)

(この姿なら怪しまれずに中に
入れてくれるかな・・・?)

(昼間はまだ冒険に行って居ない
からまた夕方に来よう！)



日が暮れてきた。
泊めてもらう理由はなんて言おうかな？
道に迷ったとか、旅の途中とか。ん・・・？

マコト



(あっ 帰ってきた！)
(あの2人だ！)

(でもこっちに来る・・・！？)

ススム



マコト



君、どうしたの？
こんな所でじっとして。
道に迷ったのならオレたちの家に
来る？
泊まってきなよ。

.....

ススム



オレはススム。
広い家なのにオレとカイの2人しか
いないから遠慮しなくていいよ。

マコト



えっ いいの？
グイールの街に帰る途中だったん
だけど・・・助かるよ。

オレはマコト。

カイ



マコト



僕はカイ。
ススムと一緒に組んでる魔法使
いさ。よろしくね♪

う、うん。ありがとう。
(やった！泊めてくれる！)

2人に案内され中へ入る。

遠くから見る事しかできなかつた少年たちと話し、一緒に夕飯を食べるなんて夢のようだ。

食後しばらく雑談をして別の部屋に案内された。



マコト



ここは寢室？
大きいベッドだなあ。
宿屋だっただけあって内装も
綺麗だね。

カイ



疲れてるでしょ？
僕たちも今日はたくさん
歩いたからもうヘトヘト。

ススム



いいね！
3人で寝ようっか？
とりあえずベッドに腰掛けな
よ。
この部屋、椅子がないんだ。

マコト



そうだ、この部屋で3人で寝ない？
き・・・記念に！
(少年たちと体を寄せ合って・・・
もしかするとHな事も・・・ごくり)

うわ、ふんわりして気持ちいい〜！
オレの家もこんなベッドで寝られたらな〜。

毎日来ても良いよ？

昼間は冒険に行ってるけど夜はいつも帰って来るから。
ところでさ、。。。オナニーってやってる？

マコトはたぶんまだ知らないんじゃない？

ええっ!? オナ・・・っ (いきなり!!)

(そうか、少年勇者って若くて盛んなのにいつも冒険とか戦いで忙しいからムラムラ溜まってるとんだな)

と
はっ

恥ずかしくてとぼけてる?

それとも本当に知らないの?

ちんちんの・・・ほら? アレだよ。

特別に教えてあげようよ。

知らなかったらかわいそうだもん。

（もしも知っていると云ったら「なくんだ。知ってたのか。それじゃいいや」って展開になってしまうかもしれない。ここは・・・）

し、知らない知らない！
何それ!? 教えて欲しいな！

よし！ それじゃまずズボン脱いで？
始めてだからオレがやってあげるよ。

恥ずかしがらなくてもいいよ。
誰も見てないから。

はい、脱いだよ？

(やべ・・・勃起しそう。それに胸がドキドする。たしか心も変化するって言ってたっけ？ 心が弱くなってる・・・!?)

うん。次は下着も脱いで？

(マコトって可愛いな・・・)

怖くないから大丈夫だよ？



う、うん。脱ぐよ。

(視線が、めちやくちや見てるし。若いからやっぱスケベだな)

ニムシ

ドキ

ドキ

ドキ

ドキ

ドキ

男同士だから平気・・・!!

(やった! 脱いだっ)

そうそう、男の友情だよな!

ドキ



ぬ、脱いだけど。(これからススムにオナニーされる!)

(でも待てよ?体も心も戻ってるって事はちんちんの経験も?)

(つまり精通前の状態になってるとか?)

プルン

お、おおうっ! よしっ

じゃ、今からちんちんに触るけど
じっとしてて.....

恥ずかしいからって途中でやめたりしたら
ちちゃんと精通できないかもしれないからさ。